

「資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応」に関する開示状況 (2024年2月末時点)

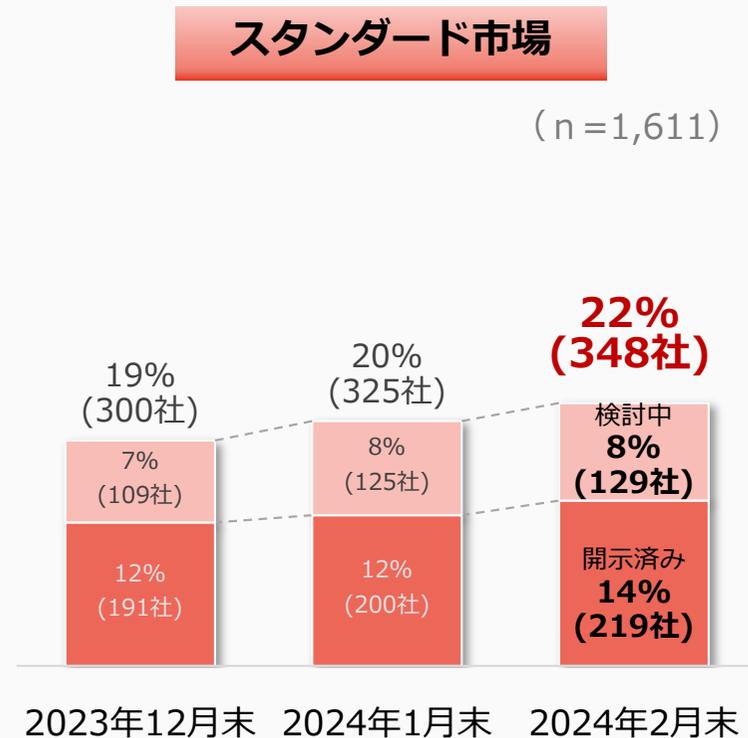
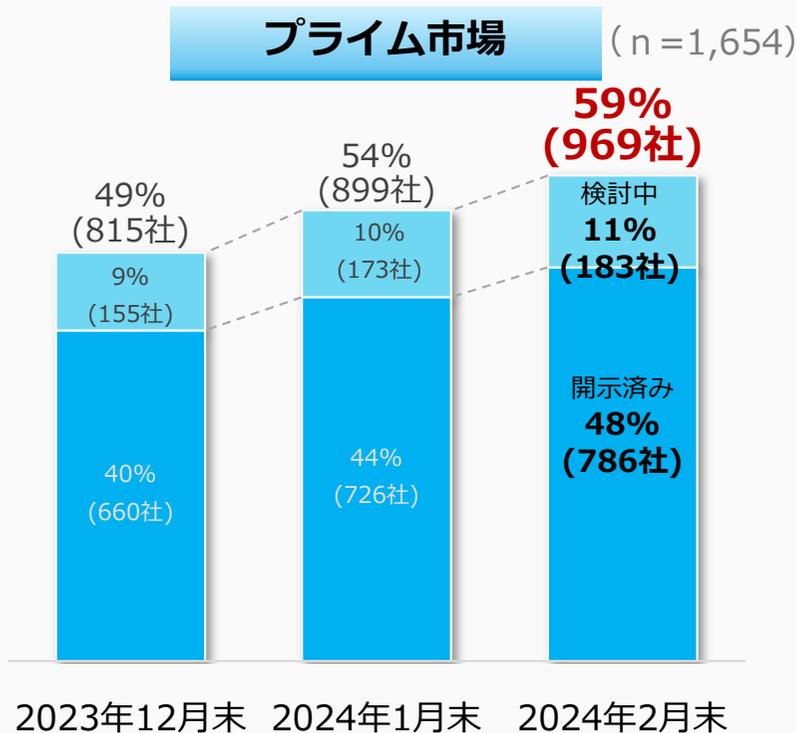
東京証券取引所 上場部

2024年3月22日



「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する開示状況

- ◆ 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、**2024年2月末時点で、プライム市場の59%（969社）、スタンダード市場の22%（348社）が開示**（検討中を含む）
 - 2023年12月末時点から、プライム市場では+10pt（+154社）、スタンダード市場では+3pt（+48社）
- ⇒ 3月決算企業を中心に、**本決算発表や定時株主総会に向けて取組みの開示・アップデートを検討する企業も多く見込まれる**なか、上場会社からよく問い合わせをいただく**対応・開示の留意点、一覧表の掲載ルール等**について、プライム市場・スタンダード市場の**全上場会社に周知**（2024年3月末 予定）



◆ 引き続きPBRが低い企業/時価総額が大きい企業ほど開示が進んでいる一方で、PBRが1倍以上の企業や、時価総額が相対的に小さい企業においても、開示に進展が見られている

注：（）内の数値は、2023年12月末時点からの変化

時価総額	PBR	
	1倍未満	1倍以上
1,000億円以上	87% (+9pt) が開示 取組み開示：72% (+7pt) 検討中：15% (+2pt) n=274社 (-18社)	57% (+11pt) 取組み開示：50% (+9pt) 検討中：7% (+2pt) n=524社 (+42社)
250~1,000億円	65% (+7pt) 取組み開示：47% (+4pt) 検討中：18% (+3pt) n=329社 (-23社)	42% (+10pt) 取組み開示：33% (+10pt) 検討中：9% (+0pt) n=358社 (+28社)
250億円未満	49% (+12pt) 取組み開示：36% (+8pt) 検討中：13% (+4pt) n=78社 (-14社)	34% (+12pt) 取組み開示：27% (+11pt) 検討中：7% (+1pt) n=91社 (-17社)

- ◆ 東証では、より多くの企業に実効的な取組みの検討・開示を促していくため、以下の取組みを実施
 - ▶ 今後も、継続的に、企業の対応状況や投資家からのフィードバック等を把握（3月決算企業の対応状況に着目）し、必要に応じて追加的な施策を検討・実施していく

開示企業一覧表の公表

- ◆ 対応を進めている企業の状況を投資家に周知し、企業の取組みを後押しする観点から、要請に基づき開示している企業の一覧表を公表【2024年1月15日より公表開始、毎月更新予定】

対応のポイント・取組事例の公表

- ◆ 投資者の視点を踏まえた対応のポイントや、投資者の支持が得られた取組みの事例について、企業の規模や状況に応じていくつかのパターンを取りまとめ、公表【2024年2月1日に公表】

対応状況の集計・周知

- ◆ 企業の開示状況や投資家等からのフィードバック等を概ね四半期ごとに集計【2024年1月15日より公表開始】

上場会社への再周知

- ◆ 上場会社からよく問い合わせをいただく対応・開示の留意点、一覧表の掲載ルール等について、プライム市場・スタンダード市場の全上場会社に周知【2024年3月末 予定】

※ そのほか、中長期的な企業価値向上に向けた各社の取組みの検討をサポートするため、専任のグループ（上場会社サポートグループ）を2024年1月に設置

※ 上記の各種資料・データはウェブサイトページ（<https://www.jpx.co.jp/equities/follow-up/02.html>）にまとめて掲載